

## タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年7月11日（土）午後2時～3時30分  
会 場 緑ヶ丘分館（緑ヶ丘地区町会）  
天 気 くもり  
参加者 32人



### 主な意見等

参加者 道路についてですが、緑ヶ丘に大型商業施設ができたときに車の流入が多くなっている状況があります。ベルクの裏通りは名目上、30キロ制限の道路ですが、30キロ以下で走っている車などありません。30キロ以下で走るようにしてほしいです。

市 長 大型施設ができた影響で抜け道として通行する車も多いと思います。現在市内のいくつかの地域で「ゾーン30」という30キロ規制区域があります。実際に速度規制を守ってもらえるような方策を考えていきたいと思います。今、夏の交通事故防止運動期間中ですが、警察にも声を伝えていきます。

参加者 ビバホームやカスミストアという大型施設ができてから、ここを目指す車が増えました。最大の問題は住宅側に歩道がないということです。安心して歩こうと思ったらみんな逆側に渡らなければいけません。私自身も何回か現場を歩きましたが、50～70センチは道路を拡張する余地はあると思います。住宅側に路側帯が確保されれば比較的安心して歩くことができるので、何とか確保していただきたいです。住環境の変化により私たちは不安な思いをしています。

市 長 お話しいただいた通り、商業施設の建設により住環境は変わったと思います。ましてや、居住されている方の年齢層も上がり、お孫さん世代に当たる子供たちも増えています。このような中で安全性確保のニーズは上がっていると思います。拡幅のご提案につきましては、雨水の吸い込みなどの課題もあると思いますが、市で何らかの方法を考えていきたいと思っています。

参加者 雨水の話につきまして要望書を提出したのですが、見ていただいていますか。ビバホームの住宅側の道路ですがゲリラ雷雨が少しあると水が上がってきてなかなか引きません。その水たまりが見えないため車が入ってくると住居の方に波が押し寄せます。このようにしてガレージの車が3台くらい壊れています。以前はビバホームに車を止めさせてもらったりもしましたが、今は警備上の理由で断られています。

市 長 そのお話があつてから私も貯留浸透施設をつける決断をしました。当時の行政も最大の雨量をここまでは見込んでおりませんでした。

参加者 各家庭では、雨水の大半は浸透枡で処理するようになっていると思います。各家庭で年に一回くらい掃除するというのも大事だと思います。

市 長 おっしゃる通りです。街なかの雨量を少しでも何とかしようということで、現在市でも、県の負担によって浸透枡を各家庭へ設置することを推進しています。また、大井西中学校の辺りに大きい池を作ります。

参加者 私の家の前は、そんなに低い土地ではないですが、あつという間に車が浸ってしまいます。

市 長 緩やかな勾配であっても数分間で水浸しになってしまうことがあります。例えば、駅の近くでも川のようにになってしまう箇所もあります。西公民館の方に入る裏通りにも池のようにしてしまう箇所がありましたが、これは貯留浸透施設をつけたことでだいぶ改善さ

れました。

参加者 公共施設のあり方につきまして、福岡高校跡地の利用方法については現在検討中と伺っています。現代社会において大きな問題とされるのが子育てと高齢者介護です。その意味で高齢者対策としての特養ホームを福岡高校の跡地に作り市民の老後に役立つ施設を提供するという施策は考えられないでしょうか。

市長 素晴らしいご提案だと思います。ふじみ野市では特別養護老人ホームなどの施設を積極的に誘致しています。周辺自治体の中では市の規模の割に施設は多いぐらいです。現在も一か所建設予定のものがあり、数的には充実しています。ただ問題は、介護保険制度上、ふじみ野市にあっても市民が優先して入居できるようにはならないということです。一部施設には市民の優先枠を作っていただいています。在宅介護が推奨されていますが、物理的な問題などでなかなか難しいのが現状ですので、施設を活用しやすい状況をつくっていくことが必要だと思います。

旧福岡高校につきましては、何とか活用したいということを県に対し働きかけています。しかし、県から取得するためには購入費用が必要となります。建物を維持するには莫大な費用がかかってしまいます。大学などに校舎を使ってもらい体育館の残りの施設を市で活用するなど、民間と協力した運用も選択肢の一つです。特別養護老人ホームの誘致についても考えました。しかしこれに関しては制度を見直してもらわないと難しいです。社会福祉法人とか医療法人が作ると市に固定資産税が入ってきません。特別養護老人ホームを作っても市民が入居できない、市に固定資産税が入ってこないでは本末転倒です。今まで頑張ってきた高齢者の皆さんには安心して暮らしてもらいたいと考えており、まさに提案者様と同じ思いです。しっかりと受け止めさせていただきました。

参加者 大井総合支所の役割について伺います。支所には限られた部署しかありませんので、「本庁へ行ってください」と言われることがあります。足が丈夫な方は本庁へ行くと思います。しかし、今はインターネットがさかんです。これらをうまく活用して、大井総合支所で

もう少し用事がす済むようにしていただけないでしょうか。交通機関も限られているし、大変不便です。

市長 可能なものは大井総合支所でもできるように努めています。今までも交通手段のない人のために本庁と支所の間で直通バスを運行していました。しかし、関越道で起きた事故の影響で4月からバス規制が変わり費用負担が増えたこともあり、利用状況を考慮した結果、直通バスを廃止しました。しかし、廃止後バスに関するお問い合わせは1件もありません。本庁に行かないといけないという声を聞くことはだいぶ少なくなったと思うのですが。

参加者 例えば、私が税金の関係で支所へ伺うと「ここで資料は出せませんので、本庁へ行ってください」と言われます。また、一つ提案があります。他の市でやっているのですが、バスの運営に費用が掛かるのであれば、無料かどうかは別としてタクシーチケットを高齢者の方などに配布することが有効だと思うのですが、いかがでしょうか。

市長 直通バスを廃止したため、現在、支所から本庁までの交通手段のない方のためにタクシーチケットを配布しています。ちなみに4月から1件の利用もございません。極力機能を支所に移して、大半のことができるようになりました。ただ、障害者手帳の再交付など一部のことについては、本庁でしかできないため、それについてはご不便をおかけしていると思います。

参加者 2つ要望をさせていただきたいと思います。1点目は、町内での不審者情報についてです。臨場感あふれる報告を町内の方からいただいておりますが、町会としての対応は難しいのが現状です。そこで提案なのですが、せっかく市内にスピーカーが張り巡らされているのでそれを使って不審者情報を流せば、抑止効果が大きいのではないのでしょうか。なかなか難しいというお話を聞いてはおりますが、空き巣、怪しげな不審者などの情報を月1回でもスピーカーを使って流してほしいと思います。

2点目は、今は多目的グラウンドになっている大井清掃センターの跡地についてです。ここに以前立派な桜の木がありましたが、あ

っという間に切られてしまいました。あそこまで成長するのに40～50年はかかったと思います。その木があった場所は、歩道のような道路になりました。今はできる限り大きな木は切らないというのが社会の風潮です。今後、開発があるときには木を生かしてほしいと思います。

市長 1点目につきましてはご提案として承ります。2点目についてはまさにそのとおりだと思います。大井清掃センターの跡地については詳しい報告を受けておりませんが、私自身もむやみやたらに伐採を行っていくことはどうかと思います。自然環境は保全できるものは保全していくべきだと思います。

参加者 ビバホームの側面の道路交通量が増えています。今後、尚美音大の後も宅地になり、さらなる交通量の増加が予想されます。所沢方面へ向かう道路として、ベルクの前の通りがよく使われていますが、通学路になっており危険性もかなりあります。東西の道路の接続についてどのようにお考えですか。

市長 住宅の開発や大型商業施設の誕生による環境の変化により、交通量が変わってきています。これから市内の交通体系調査を行います。今後調査を進める中でご指摘の箇所についても、何らかの改善を図りたいと思います。

参加者 歩道の確保も含めて、道路計画を考えていただければと思います。

市長 それも大きな課題ですので、検討していきたいと思います。

参加者 交通体系の話について、民間活力の導入という観点からすると東武バスが主体となるべきだと思います。市が運営するバスの導入には合点がいきません。東武バスに収益を出すために改善を促し、それでもダメな場合は補助金を出すというのが本来のあり方ではないでしょうか。市のバスは1割も利用率がなく、3000万円ぐらいのお金を使っていると思います。それにもかかわらず、状況が改善されていません。

市長       ご指摘いただいた案は方策の一つだと思います。市では循環バスの見直しを含めた地域公共交通会議という法定協議会を立ち上げました。バス会社やタクシー協会、有識者等に参加していただいています。これにより大幅な見直しをしたいと思います。ご存知の通り、民間のバス会社は少しでも採算が取れないとすぐ路線を廃止してしまいます。公共交通のあり方を根本から見直さなければなりません。例えば、全国各地で行われていますが、現在の定時定路線のバスを維持しながら、交通の空白地をデマンド交通で補完するというのも一つの案だと思います。高齢者は交通手段がないと家に閉じこもってしまい、その結果、体調が悪くなり医療費や介護費用がかかってしまいます。それを抑制するための公共交通にかかる費用は投資として有効だと思います。

参加者       市の駐輪場は比較的安価なため利用しやすいです。毎年抽選で利用者を決められますが、ことしは外れてしまいました。以前は優先予約があったような気がします。この点について、働いている人優先とか、駐輪場を増やすという案はないのでしょうか。

市長       この地域は駐輪場の需要が多いと思います。また最近、住宅開発が進み利用者が増えてきていると思います。利用料金については民間事業者を圧迫しないようにしなくてははいけません。今後、このことや利用ニーズ等を考慮しながら検討していきたいと思います。公共サービスの公平性を維持しつつ、利便性の向上に努めていきたいと思っています。